

塩津小学校からの報告

「みずすまし」水生生物調査結果表

調 査 場 所 名 (No.)			香取神社付近(塩津中) No.1				沓掛公民館付近 No.2				No.3				
月 日 時 刻			6月14日 14時00分		6月20日 10時00分										
天 気			曇り				晴れ								
水 温 (°C)			19.0 °C				17.0 °C								
気 温 (°C)			24.0 °C				30.0 °C								
川 幅 (m)			8.0 m				5.0 m								
河 川 名			大川中流				大川上流								
生 物 を 採 取 し た 場 所			川の中央				川の中央								
水 深 (cm)			25.0 cm				40.0 cm								
流 速 (cm / s)															
水 の よ う す		指 標 生 物													
I き れ い	1	カワゲラ類		●				○							
	2	ナガレトビケラ・ヤマトビケラ クロツツトビケラ類		●				○							
	3	ヒラタゲロウ類		○				○							
	4	ブユ類		○				○							
	5	ヘビトンボ類						●							
	6	ガガンボ類													
	7	サワガニ		○				●							
I ・ II 共 通	8	ウスムシ類													
	9	2以外のトビケラ類		○											
	10	3、14以外のカゲロウ類		○											
II 少しよごれている	11	ヒラタロムシ類													
	12	シジミ類													
II ・ III 共 通	13	カワニナ													
III よごれている	14	サホコカゲロウ		○											
	15	ヒル類													
	16	ミスムシ													
	17	モノアラガイ													
III ・ IV 共 通	18	サカマキガイ													
IV 大変よごれている	19	赤いユスリカ													
	20	イトミミズ類													
	21	ハナアブ類													
水 質 判 定 表	水のような区分		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	
	1	みつかった指標生物の 種類の計 (○+●)	7	2	1		6								
	2	みつかった指標生物のうち 一番数の多くあった種類(●)	2				2								
	合 計 (1欄+2欄)		9	2	1		8								
	判定結果(合計が最も大きい区分)		I				I								

塩津小学校の取組

塩津小学校は、長浜市北部に位置し、校区は南北に長く、琵琶湖畔から福井県境までの谷間ののどかな田園地帯に位置しています。調査を行った大川は、校区の中央を縦断するように流れ、鮎の漁場として多くの方に親しまれています。

3年生では、本校の総合的な学習の時間に、1学期「水生生物調査隊」として、大川の水生生物調査に取り組みました。調査は、大川中流の香取神社付近（塩津中）と、大川上流の沓掛公民館付近の2か所で行いました。

調査結果と考察

<第1回調査 6月14日（金）くもり 14:00～>

水生生物で川の水のよごれがわかることを学習し、私たちの学校近くの大川中流の塩津中と、塩津学区の一番北にある上流の沓掛では、どれほど水環境がちがうのかを調べました。

予想として、上流の沓掛の方がきれいで、下流にいくほど汚れているだろうとみんなで考えました。理由は、学校近くの大川に来ているたくさんの釣り客がゴミを落としているし、住宅や田んぼなどが増えるからです。

子どもたちにとって初めての調査となるため、水生生物に詳しい講師の先生を招き、長浜水生生物少年少女調査隊「みずすまし」の活動の目的やねらい、水生生物の採取方法や注意事項などをお話していただきました。その後、6人が3人ずつの2つのグループに分かれ、調査を開始しました。当日は、気温24℃、水温19℃、生物採取場所の水深が25cmと、活動しやすい状況で実施することができました。

調査地点の川幅は約8m、川の東側が少し河原になっていて、西側に行くほど深くなっています。また、西側は水の流れが速いため、川中より東側で調査を行いました。透き通った水で、肉眼では生物は確認できませんでしたが、講師の先生に教えていただいたように石を動かしたり水底をすくったりすると、思った以上にたくさんの水生生物がいて子どもたちは驚いていました。各グループで採取した水生生物を種類ごとに分ける際には、「水生生物でみるしがの水」の冊子や下じきを片手に、講師の先生に聞きながら、意欲的に取り組む姿が見られました。はじめて見るかわった水生生物ばかりなので、講師の先生と一緒に仲間分けをしました。



＜第2回調査 6月20日（木）晴れ 10：00～＞

前回のよう講師の先生を招いて、調査活動を行いました。子どもたちがあまり行く機会のない沓掛で、大川上流の調査を行いました。気温は 30℃、水温は 17℃でした。前の週の週末に降水がありましたが、予定していた地点での採取となりました。川の幅は約 5m でコンクリートブロックを利用して川へ下り、できるだけ自然のままの場所で調査活動をしました。1 回目よりも、川の水量も多く、流れも速かったのですが、2 回目の調査ということもあり、グループの仲間と協力しながら取り組む姿が見られました。採取をする際には、前回教えていただいたことをよく覚えていて、意欲的に効率よく採取することができました。中流では見られなかった、ヘビトンボが見られ、サワガニの体長が中流より小さいという特徴が見られました。



調査のまとめ

- ★中流の塩津中では見られなかったヘビトンボが、上流の沓掛では見られました。
- ★上流の沓掛では、サワガニがたくさんとれました。また、どのサワガニの個体も小さく、上流ならではのものと、わけを聞いて納得している様子でした。
- ★このような結果から大川の水は、上流の沓掛の方がきれいであることがわかりました。途中、集福寺川と合流するので、集福寺川の水生生物も調べられるとよいと思いました。
- ★同じ大川であっても、中流と上流では、それぞれの水環境にあった水生生物がくらしていることがわかりました。
- ★生き物が安心してすめるようにしていかなければならないと思いました。
- ★身近な水や自然を大切にしていかなければならないと思いました。

環境日記より

○6月14日

川の水は思ったよりも流れが速く冷たかったです。

気が付いたことは、川にごみがたくさん落ちていたことです。調査をした日は、釣り人が1人しかいませんでしたが、多く人が来るとたくさんごみを捨てて帰るのかなあと思いました。自分のごみぐらひは、持って帰ってほしいなと思いました。

環境日記より

○6月14日

最初は全然いないと思っていたけど、布施先生に教えたもらったやり方でつかまえると、すごくいたのでびっくりしました。大川の水はきれいだったです。水は少し冷たかったし、水生生物が石にくっついていて初めて知りました。また、大川に行って水生生物を捕まえたいです。今度の水生生物調査が楽しみです。

環境日記より

○6月20日

水生生物調査は、1回目より水は冷たかったです。比べると、川の流れが激しかったです。1回目にはいなかった生き物がいっぱいいました。ヘビトンボ・サワガニ・ヤゴがとれました。とり方も工夫してとりました。

バットに入れていたヘビトンボが、違う種類の生き物を食べていてびっくりしました。布施先生に、「ヤゴはあごがスプーンみたいな形で、お尻がハサミで挟まれると痛いよ。」と教えてもらいました。

小さな木の中に虫が入っているのを気付かずに入れていたのに、まさか虫が入っているとは思っていませんでした。青色には、ヘビトンボが多かったし、黄色にはウズムシがいました。二つの組は、赤組にいなかった生き物がたくさんいたのでびっくりしました。

環境日記より

○6月20日

水生生物調査をしました。2回目でした。布施先生としました。2回目なのでうまくいきました。でも、前より川の水温が冷たくて、少し深かったです。でも、前とれなかったヘビトンボ・ウズムシ・少なかったサワガニも多くとれました。布施先生との水生生物調査は楽しかったです。またやってみたいです。